

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》呉 秀娟（非）

【概 要】

ゼロからの学習者を対象とする。中国語の発音とその表記法（ピンイン）を学び、特に四声に関して、徹底した指導を行なう。その際、学習者に苦手意識を持たせぬよう、日常に役立つフレーズや文法事項を分かり易く解説しながら、学習者が中国語を話すことに楽しさを感じられるよう留意する。また、語学的指導以外に、日本と中国の文化や習慣の違いなどについても、両者を比較しながら紹介してゆく。

【学習目標】

- ・中国語の発音とその表記法を理解し、初歩的な会話ができることを目標とする。
- ・中国語の初歩的な語彙や文法、表現法を理解し、身につけることを目標とする。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	中国語とは？	呉 秀娟
2	発音	声調（四声）、軽声、単母音の発音	呉 秀娟
3	発音	子音の発音 / 簡単な挨拶	呉 秀娟
4	発音	子音、二重母音の発音 / 数字（1～10）	呉 秀娟
5	発音	複合母音の発音 / 人称代名詞	呉 秀娟
6	発音	発音の練習 / 名前の中国語読み	呉 秀娟
7	昼食会 のA	指示代名詞、形容詞と形容詞述語文	呉 秀娟
8	昼食会 のB	疑問文、否定を表す“不”	呉 秀娟
9	昼食会 のA	正反疑問文	呉 秀娟
10	昼食会 のB	選択疑問文、名詞句	呉 秀娟
11	昼食会 のA	親族名称、存在を表す動詞“有”	呉 秀娟
12	昼食会 のB	年齢の尋ね方、数字（10～99）	呉 秀娟
13	中華街に行く のA	日付と曜日の言い方、助動詞（1）	呉 秀娟
14	中華街に行く のB	動詞の重ね型、前置詞（1）	呉 秀娟
15	まとめ	前期の総復習	呉 秀娟

【評価方法】

定期試験60%、平常点（授業への取り組み・小テストの成績や課題の取り組みなど）40%

→レポート課題60%、平常点（授業への取り組み・小テストの成績や課題の取り組みなど）40%

【備 考】

教科書：董燕・遠藤光暁著『ともだち・朋友—スリム版1—』（朝日出版社、2010年）

参考書：必要に応じて授業中に紹介・説明する。

その他：基本的に教科書に沿って進むが、適宜プリントも配布する。
中国の伝統文化や現代中国事情についても、DVDを使用しながら適宜紹介する。

【学習の準備】

各回授業外学修時間は変わるが、平均すると各回40分程度の予習・復習が必要である。授業で習った単語・表現は、教科書付属のDVDとCDを活用しながら復習すること。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- （DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- （DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- （DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。